

単元 1 植物の種類と生活 植物の体のつくりとはたらき 2 花のはたらき

◇課題◇ 花のどの部分が果実や種子になるのだろうか。

Step 1

果実を切断したときに前回行っためしべの断面と共通するつくりがあるかどうか調べる。

- ①教科書 p 27 の観察 1 を見て、前回のめしべの花のつくりと共通するつくりがあるか調べる。

Step 2

「結果からわかること」、「花から果実への変化」をまとめる。

- ① 下の文章をノートに写し、の中に入る言葉をまとめる。
- ・子房が 、胚珠が に対応していることがわかる。
 - ・花の中にあるめしべの柱頭に花粉がつくことを という。受粉すると、やがて、めしべの子房は になり、子房の中の胚珠は となる。種子ができる植物を という。
- ② ワーク p 5 の を解く。

Step 3

花粉の運ばれ方、種子の運ばれ方について理解する。

- ① 教科書 p 29 の花粉の運ばれ方についてまとめる。虫媒花（ちゅうばいか）と風媒花（ふうばいか）の特徴をそれぞれノートに書く。
- ② クロマツにはなぜ空気袋がついているのかを読む。（★1の部分）
- ③ 教科書 p 29 の図 8 「種子の運ばれ方」をノートにまとめる。
- ④ ワーク p 5 を解く。
- ⑤ ④の答え合わせをして、理解度を確認する。誤答は消さない。解説をよく読む。

Step 4

今回のまとめをする。

- ① ノートにまとめをかく。
- ② この学習を通して自分が得たこと・感じたこと(マークを☆とする)等をノートに書き出す。また、わからなかったことも書き加えておく。

※練習に使える「e-ライブラリ」→

しっかり学習→ドリル（単元学習）→理科→中学 1 年→植物の生活と種類→植物の体のつくりとはたらき